

自然環境を守り、安心して暮らせる社会を創る

北陽建設株式会社

Hokuyo construction Co., Ltd



®環境省

エコアクション21

認証番号0007075

# 環境活動レポート

*From* 2015/06/01 *to* 2016/05/31

*Issue Date* 2016/10/31



# 目 次

環境活動の対象組織・活動範囲	• • •	1
環 境 方 針	• • •	3
環境目標《中長期目標》・環境活動計画	• • •	4
環境目標に対する実績	• • •	5
環境活動計画の取組結果とその評価	• • •	6
次年度の取組内容	• • •	10
環境活動の紹介	• • •	11
環境に配慮した施工の取組	• • •	14
環境関連法規制等の遵守状況	• • •	18
代表者による全体評価と見直しの結果	• • •	20

# 環境活動の対象組織・活動範囲

## 組織の概要

1.法人名及び代表者 法人名：北陽建設株式会社  
代表者：代表取締役 原 務夫

## 2.所在地

### <EA21対象範囲事業所>

#### <<本社>>

『本店』 〒398-0003 長野県大町市社5377  
〔TEL〕 0261-22-1155 〔FAX〕 0261-22-9562  
〔mail〕 info@hokuyo-net.co.jp  
〔URL〕 http://www.hokuyo-net.co.jp

#### <<営業所>>

『長野営業所』 〒380-0912 長野県長野市稲葉1993-1  
『飯田営業所』 〒395-0803 長野県飯田市鼎下山491-3  
『木曾営業所』 〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島2822-1  
『伊那営業所』 〒396-0012 長野県伊那市上新田2367-1  
『岐阜営業所』 〒509-7201 岐阜県恵那市大井町2627-1  
『浜松営業所』 〒431-3107 静岡県浜松市東区笠井町1334-5  
『静岡営業所』 〒421-0121 静岡県静岡市駿河区広野3-20-15  
『大町機材センター』 〒398-0003 長野県大町市社4682  
『飯田機材センター』 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7924-1

### <EA21対象外事業所> 非常勤の為、事業活動に伴う環境負荷無し

『松本営業所』 〒390-0872 長野県松本市北深志2-1-18  
『小谷営業所』 〒399-9422 長野県北安曇郡小谷村千国乙10298-1  
『東京営業所』 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-7-2

## 3.環境管理責任者及び担当者

【環境管理責任者】 専務取締役 曾根原 好幸 〔mail〕 y.sonehara@hokuyo-net.co.jp  
【事務局】 担当者 鷹巣 泰久 〔mail〕 y.takasu@hokuyo-net.co.jp

## 4.事業内容

【設 立】 1930年4月 【資 本 金】 8,000万円  
【建 設 業】 国土交通大臣許可（特・般-27）第18572号  
『特定建設業』 土木、建築、とび・土工、石、ほ装、造園、水道施設  
『一般建設業』 管、さく井  
【測 量 業】 登録番号 登録第(8)-12874号  
【地質調査業】 登録番号 質25第930号  
【建設以外の外業】 登録番号 建26第4688号  
登録部門 河川、砂防及び海岸・海洋、道路、農業土木、  
森林土木、地質、土質及び基礎、建設環境

## 5.事業の規模

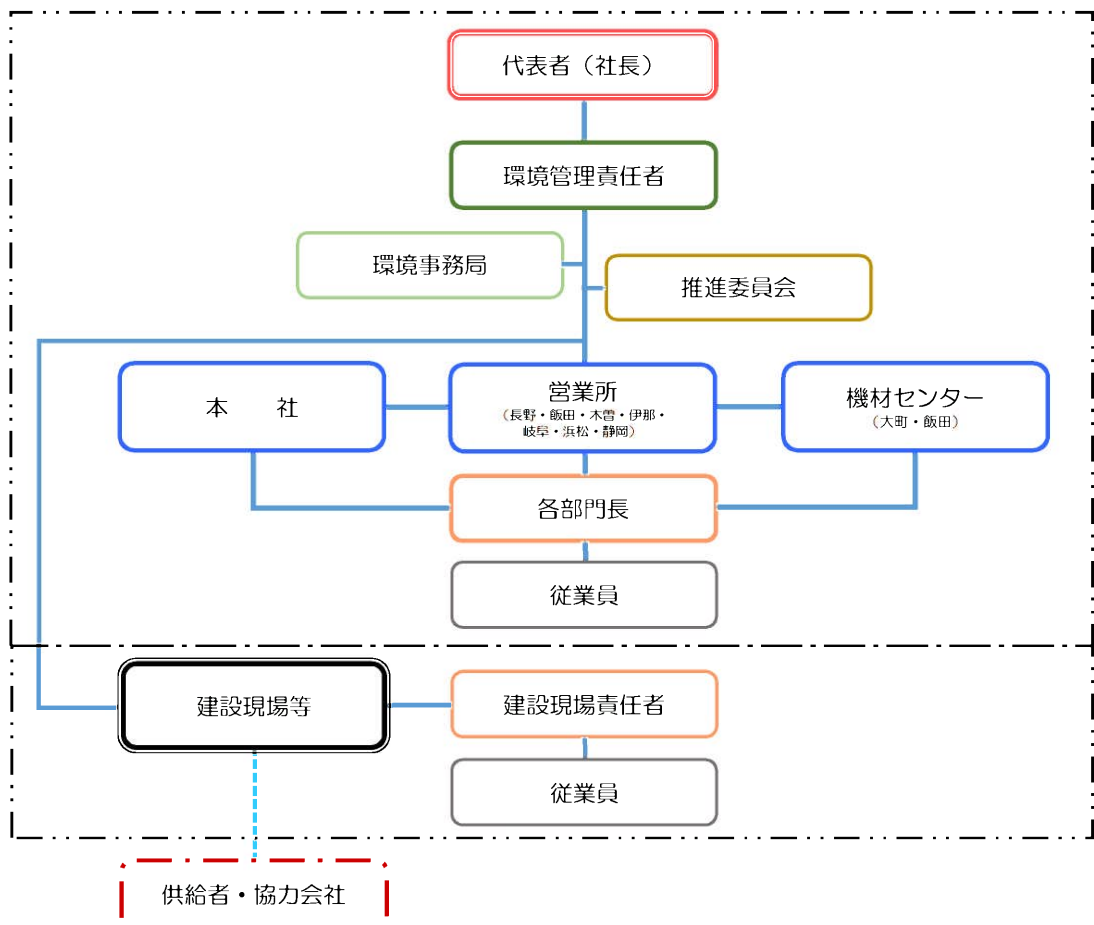
【完成工事高】 57億2746万円 (2015/06/01 ~ 2016/05/31)

【従業員数】 163名

## 6.事業施設

区分	施設名	就労数	床面積 (㎡)	施設名	就労数	床面積 (㎡)
EA21 対象範囲 事業所	本社	80	1,968.83	静岡営業所	2	75.65
	長野営業所	15	297.26	大町機材センター	8	129.42
	飯田営業所	27	458.46	飯田機材センター	3	54.61
	木曾営業所	6	128.66	大町機材センター	倉庫	3,065.06
	伊那営業所	9	416.15	飯田機材センター		540.00
	岐阜営業所	8	185.00	大町機材センター	資機材置場	3,785.85
	浜松営業所	5	149.54	飯田機材センター		1,279.79
EA21 対象外 事業所	松本営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				
	小谷営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				
	東京営業所(非常勤)	他社事務所の一部を賃貸				

## 7.認証・登録の対象範囲



# 環境方針

## ■ 基本理念

北陽建設株式会社は、長野県を中心として、厳しい自然環境とともにフォッサマグナという複雑な地質構造で磨いた高い技術力と自然への想いを事業活動に活かすため、環境に配慮した設計・施工の普及に努力し、《豊かな自然環境》《地域社会》と事業活動の隆盛を併立させるとともに、当社の事業活動が地球環境に様々な影響を与えていることを自覚し、環境負荷を可能な限り小さくするために、エコアクション21環境経営システムの運用、継続的改善に努め、常に環境への取組を自主的・積極的に行い、持続可能な循環型社会を実現する活動を全社員で取組んでまいります。

## ■ 基本方針

基本理念に基づき、以下の事項について取組んでいきます。

### 1. 環境に配慮した設計・施工の実践

各部門において環境配慮取組み目標3件以上。

### 2. 省資源・省エネルギーへの取組

建設資材の省資源および環境配慮機能を携えた資機材の利用、水資源の節水、コピー用紙の削減、グリーン購入

### 3. 廃棄物の削減・リサイクルの推進

事業活動で生じる廃棄物の3R『削減、再使用、再利用』に努める。

### 4. 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減の取組

電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

### 5. 環境関連法規の順守

事業活動を行う上で当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、またその他要求事項を遵守する。

### 6. 環境啓発活動の推進

環境保全に関する啓蒙・啓発活動を実施するとともに、地域での社会貢献活動に努めます。

制定:2010年07月26日

改定:2015年06月01日

北陽建設株式会社

この環境方針は当社全社員に周知するとともに、一般に開示します。

代表取締役 原 務夫

# 環境目標 《中長期目標》 ・ 環境活動計画

## 環境目標《中期目標》 ・ 環境活動計画 活動期間：2015/06～2016/05

項目	環境目標	環境活動
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	室内不在時、昼休時に消灯 励行
		パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF
		冷暖房の適正温度厳守（冷房28℃、暖房20℃）
		外気の適正取込み
		照明器具の定期的な清掃、交換を行う
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ
		エコ運転及び相乗りの実施
		法定速度厳守
	軽油使用量の削減	重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主検査を実施
		燃費の優れた建設機械の選択
		適切かつ効率的な運転に努める
	灯油使用量の削減	暖房の適正温度厳守（20℃）
適度な使用、消し忘れを防ぐ		
サーキュレーター等の空調設備を利用する		
LPG使用量の削減	給湯器の適温利用	
	夏季給湯利用の節約	
資源の使用量削減	水道水の使用削減	水道栓の開閉をこまめに実施
		蛇口はきちんと締めて漏水の防止
	コピー用紙の削減	使用済み用紙の裏面再使用の徹底
廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減	両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底
		文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止
		分別の徹底
	産業廃棄物の削減	帳票見直しによる印刷物の削減
		梱包材の再利用
		素材別ボックスの設置
		リサイクル業者の開拓と利用
環境配慮資材の購入	事務用品のグリーン購入	作業ミスによる廃棄量の削減
		遊休資材の活用
		コスト面を考慮しながら、環境対応マークのついた文房具の購入を推進する

## 3カ年の環境目標

環境目標項目	単位	2012年度 実績 (2012/6～2013/5)	2013年度 目標 (1%削減)	2014年度 目標 (2%削減)	2015年度 目標 (3%削減)
1.CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,903,943	1,884,904	1,865,864	1,846,825
2.電力	kwh/年	279,400	276,606	273,812	271,018
3.ガソリン	ℓ/年	235,259	232,906	230,554	228,201
4.軽油	ℓ/年	433,122	428,790	424,460	420,128
4.LPG	kg/年	1,499	1,484	1,469	1,454
5.灯油	ℓ/年	35,902	35,543	35,184	34,825
6.一般廃棄物	kg/年	1,631	1,615	1,598	1,582
7.産業廃棄物	t/年	1,416	1,402	1,388	1,374
8.水道水	m <sup>3</sup> /年	1,655	1,638	1,622	1,605
9.コピー用紙	kg/年	4,375	4,331	4,288	4,244

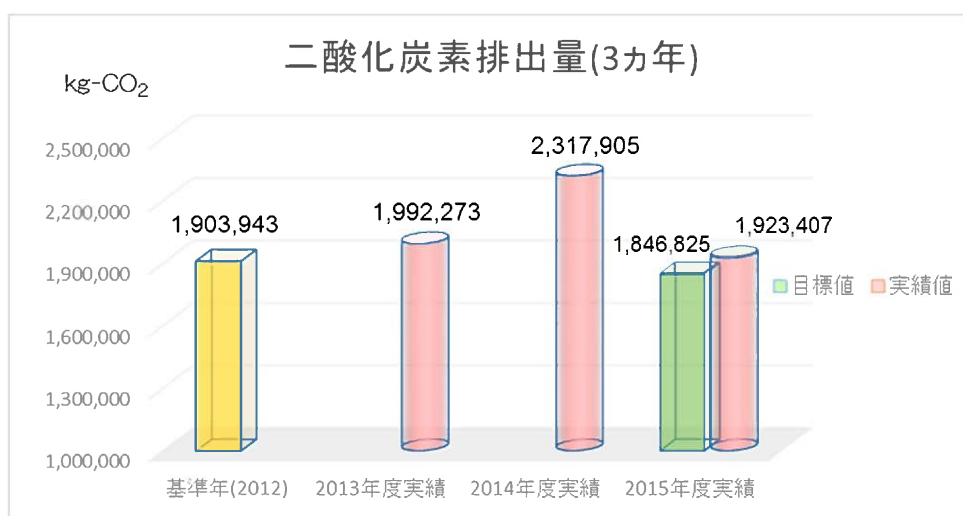
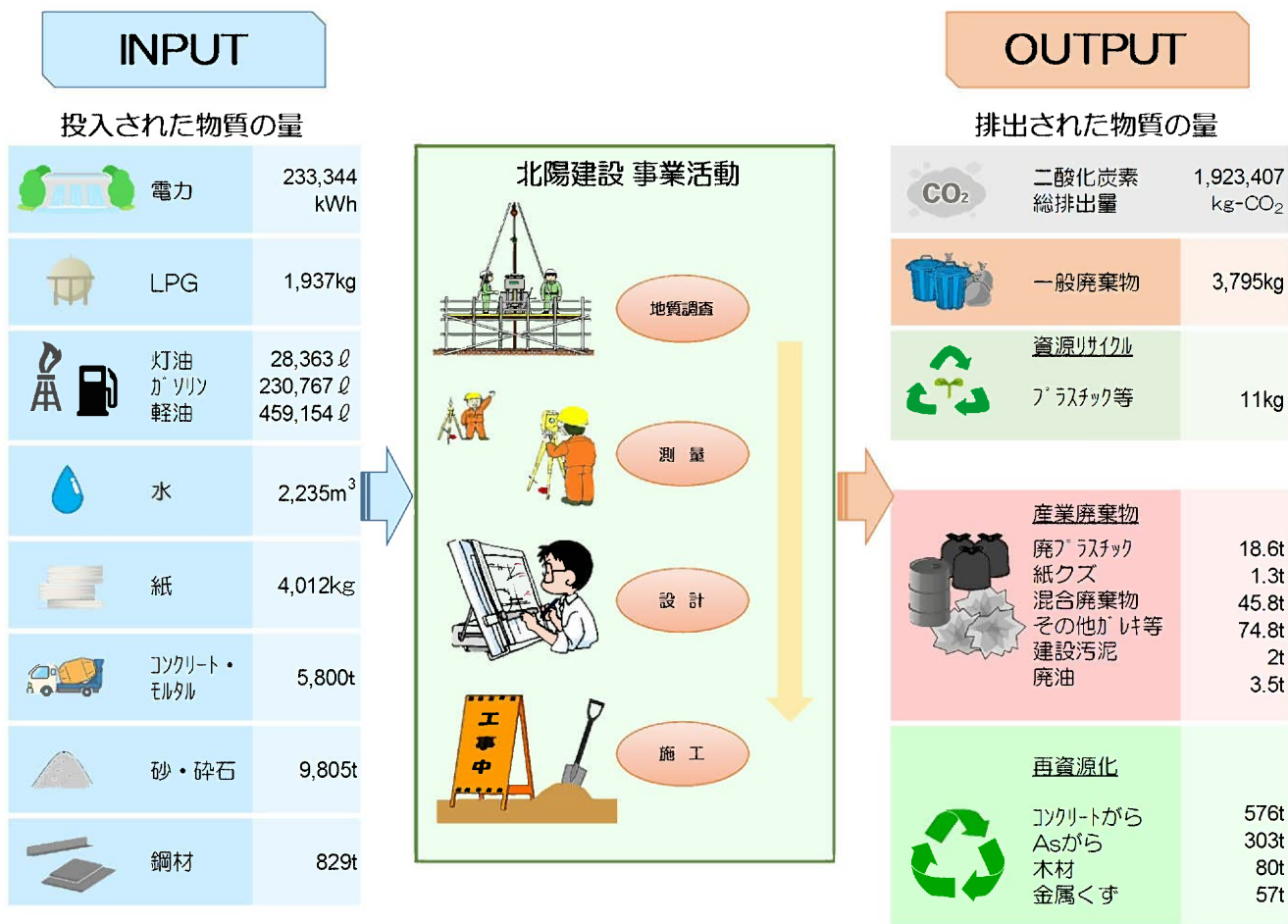
※1 2012年度の実績を基準年とし、2013年度は1%削減、2014年度までに2%の削減、2015年度までに3%の削減を目標とする。

※2 二酸化炭素排出係数は【中部電力2008年度 0.455kg-CO<sub>2</sub>】を使用しています。

# 環境目標に対する実績

2015年度（2015/06～2016/05）

事業活動マテリアルバランス



2015年度の二酸化炭素排出量は 1,923,407 kg-CO<sub>2</sub>

目標数値に対して **4.1%の増加**

前年度に対して **17.0%の減少**

# 環境活動計画の取組結果とその評価

## 年度削減目標と実績値の比較

環境目標項目	単位	2015年度削減目標	2015年度実績値	目標比	評価
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,846,825	1,923,407	+4.1%	×
電力	kwh/年	271,018	233,344	-13.9%	○
	kg-CO <sub>2</sub> /年	123,313	106,172		
ガソリン	L/年	228,201	230,767	+1.1%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	529,806	535,764		
軽油	L/年	420,128	459,154	+9.3%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,102,560	1,204,977		
LPG	kg/年	1,454	1,937	+33.2%	×
	kg-CO <sub>2</sub> /年	4,365	5,815		
灯油	ℓ/年	34,825	28,363	-18.6%	○
	kg-CO <sub>2</sub> /年	86,782	70,680		
一般廃棄物	kg/年	1,582	3,795	+139.9%	×
産業廃棄物	t/年	1,374	1,162	-15.4%	○
水道水	m <sup>3</sup> /年	1,605	2,235	+39.3%	×
コピー用紙	kg/年	4,244	4,012	-5.5%	○

(評価：達成 ○、未達成 ×)

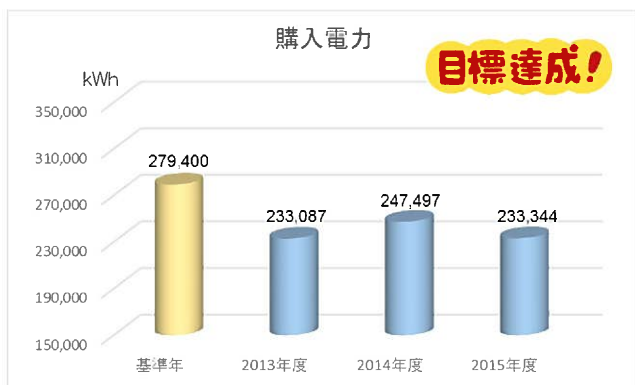
※ 二酸化炭素排出係数は【中部電力2008年度 0.455kg-CO<sub>2</sub>】を使用しています。

## 中長期目標と2015年度実績値の比較

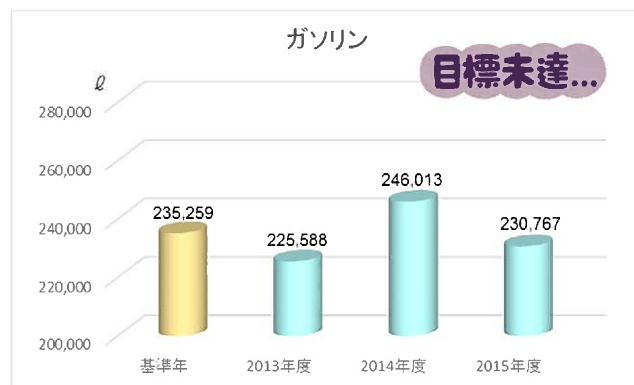
【2015年度は基準年より-3%が目標】

環境目標項目	単位	基準年	2013年度実績値	2014年度実績値	2015年度実績値
購入電力	kWh	279,400	233,087	247,497	233,344
ガソリン	ℓ	235,259	225,588	246,013	230,767
軽油	ℓ	433,122	478,516	604,056	459,154
LPG	kg	1,499	1,955	1,885	1,937
灯油	ℓ	35,902	40,460	46,348	28,363
一般廃棄物	kg	1,631	1,964	2,364	3,795
産業廃棄物	t	1,426	427	764	1,162
水道水	m <sup>3</sup>	1,655	1,833	1,863	2,235
コピー用紙	kg	4,375	3,872	4,132	4,012

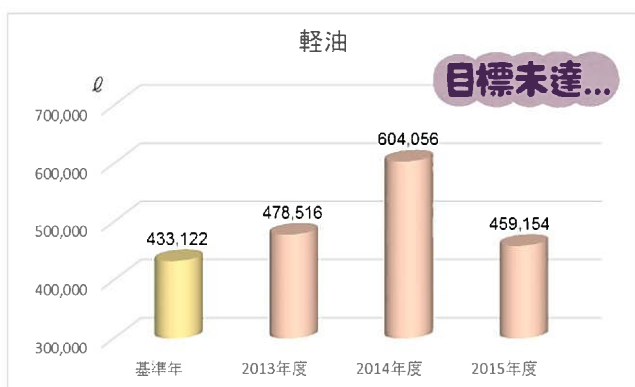




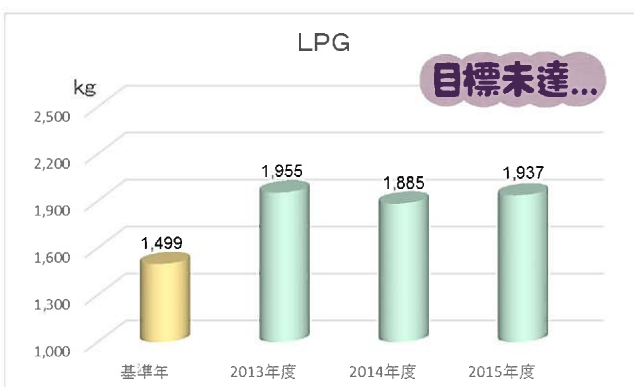
2015年度の電力使用量は 233,344kWh  
 基準年に対して **19.7%の減少**  
 前年度に対して **6.1%の減少**



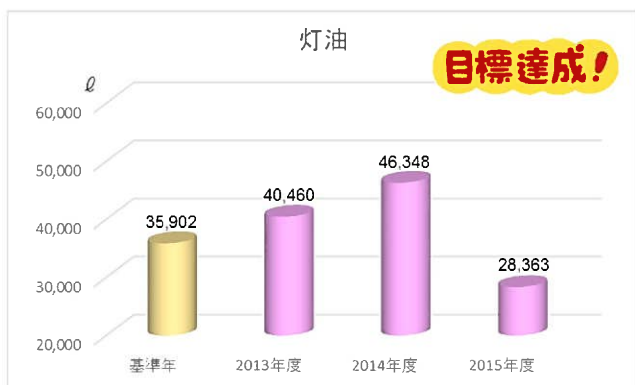
2015年度のガソリン使用量は 230,767ℓ  
 基準年に対して **1.9%の減少**  
 前年度に対して **6.6%の減少**



2015年度の軽油使用量は 459,154ℓ  
 基準年に対して **6.0%の増加**  
 前年度に対して **31.6%の減少**

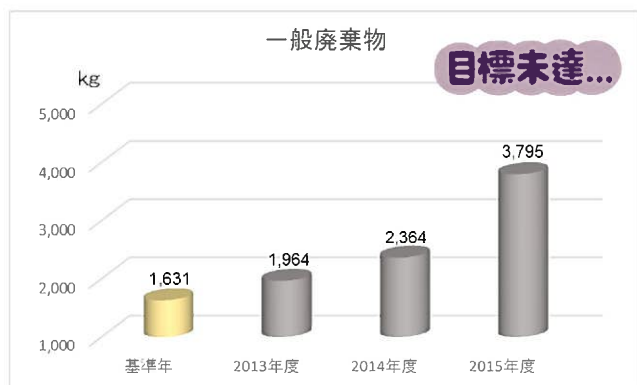


2015年度のLPG使用量は 1,937kg  
 基準年に対して **29.2%の増加**  
 前年度に対して **2.8%の増加**

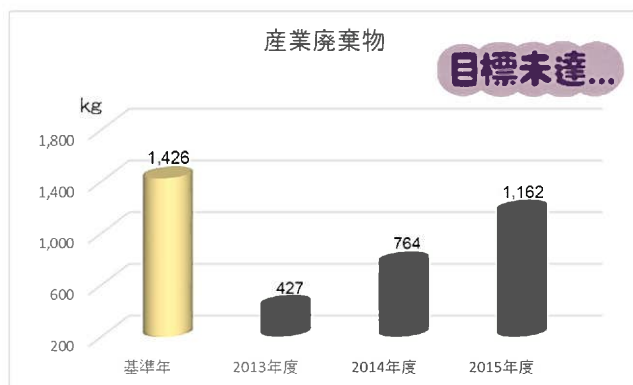


2015年度の灯油使用量は 28,363ℓ  
 基準年に対して **26.6%の減少**  
 前年度に対して **63.4%の減少**

電力・化石燃料の消費については、  
 「電力・灯油」で日々の節約や暖房調整が徹底され基準年より-3%以上削減することができ、目標を達成できた。  
 「ガソリン」は削減傾向にあり、燃費を意識したエコ運転が定着しつつある。  
 「軽油」は受注量や工事種別により建設機械の稼働の増減があるが、基準年と比べると効率の良い作業により増加がわずかとなっている。  
 「LPG」は増加傾向であるため、さらなる努力が必要である。



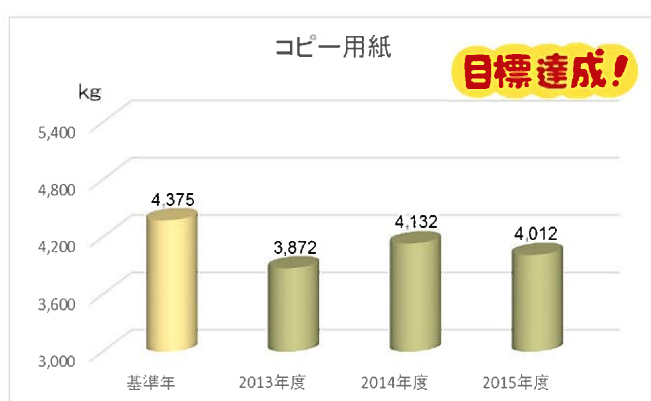
2015年度の一般廃棄物量は 3,795kg  
 基準年に対して **132.7%の増加**  
 前年度に対して **60.5%の増加**



2015年度の産業廃棄物量は 1,162t  
 基準年に対して **22.7%の増加**  
 前年度に対して **52.1%の増加**



2015年度の水道水使用量は 2,235m<sup>3</sup>  
 基準年に対して **35.0%の増加**  
 前年度に対して **19.9%の増加**



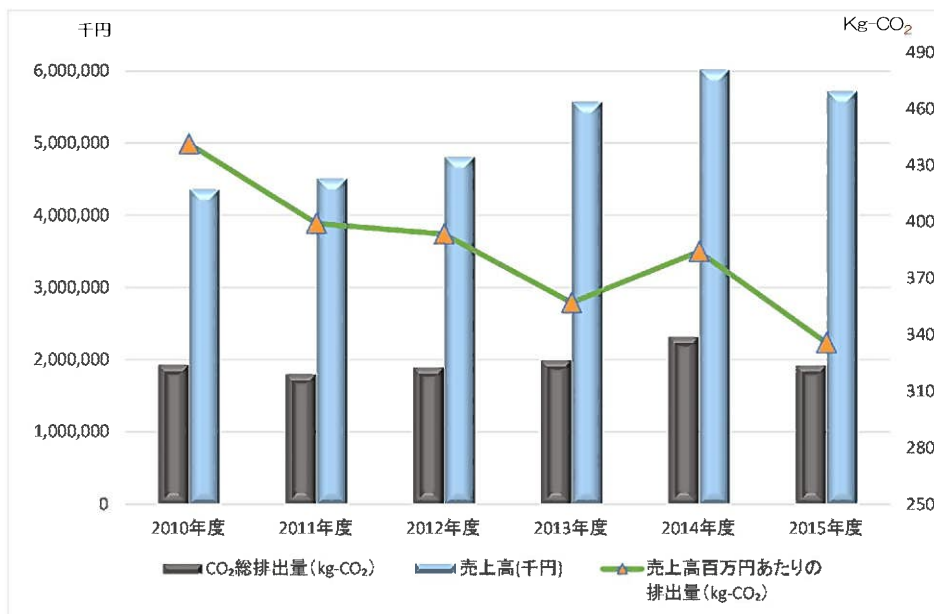
2015年度のコピー用紙使用量は 4,012kg  
 基準年に対して **9.1%の減少**  
 前年度に対して **3.0%の減少**

廃棄物の削減、資源の消費については、  
 「一般廃棄物」は社内の不用品の整理を行ったため、ゴミの排出が増加した。  
 「産業廃棄物」は元請工事量の増加に伴い年々増加傾向にある。  
 産業廃棄物については、マニフェストで適正に管理されている。  
 「水道水」も年々増加傾向にあり、無駄な使用をなくし節水に取り組んでいく。  
 「コピー用紙」は全社的に節約の取組が定着している。

## 売上高に対するCO<sub>2</sub>排出量の比較

売上高 百万円当りでのCO<sub>2</sub>排出量を過去の実績から比較してみると、エコアクション導入時より減少傾向にある。

項目 \ 事業年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
CO <sub>2</sub> 総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	1,930,457	1,804,159	1,895,875	1,992,273	2,317,905	1,923,407
売上高(千円)	4,368,266	4,515,597	4,814,923	5,576,627	6,026,904	5,727,462
売上高百万円あたりの排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	442	400	394	357	385	336



# 次年度の取組内容

次年度(2016年度)の取組内容				
	環境目標項目	基準年(2015年度)	目標値	達成手段
電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力の削減 基準年から1%削減	電力使用量 233,344 kWh CO <sub>2</sub> 排出量 113,405 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	電力使用量 231,010 kg-CO <sub>2</sub> /kWh CO <sub>2</sub> 排出量 112,271 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内不在時、昼休時に消灯励行</li> <li>パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF</li> <li>冷暖房の適正温度厳守(室温 冷房28℃、暖房20℃)</li> <li>外気の適正取込み</li> <li>照明器具の定期的な清掃、交換を行う</li> </ul>
	ガソリンの削減 基準年から1%削減	ガソリン使用量 230,767 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 535,841 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	ガソリン使用量 228,459 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 530,482 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップ</li> <li>エコ運転及び不用品な荷物をおろす、相乗りの実施</li> <li>法定速度厳守</li> </ul>
	軽油の削減 基準年から1%削減	軽油使用量 459,154 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 1,202,524 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	軽油使用量 454,562 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 1,190,498 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	<ul style="list-style-type: none"> <li>重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主点検を実施</li> <li>燃費の優れた建設機械の選択、</li> <li>適切かつ効率的な運転に努める</li> </ul>
	LPGの削減 基準年から1%削減	LPG使用量 936 m <sup>3</sup> CO <sub>2</sub> 排出量 6,178 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	LPG使用量 926 m <sup>3</sup> CO <sub>2</sub> 排出量 6,116 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯器の適温利用</li> <li>夏季給湯利用の節約</li> <li>暖房の適正温度厳守(室温 暖房20℃)</li> </ul>
	灯油の削減 基準年から1%削減	灯油使用量 28,363 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 70,596 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	灯油使用量 28,079 ℓ CO <sub>2</sub> 排出量 69,890 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房の適正温度厳守(室温 20℃)</li> <li>過度な使用、消し忘れを防ぐ</li> <li>サーキュレーター等の空調設備を利用する</li> </ul>
	廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減 基準年から1%削減	廃棄物量 3,795 kg	廃棄物量 3,757 kg
産業廃棄物の削減 基準年から1%削減		廃棄物量 1,162 t	廃棄物量 1,150 t	<ul style="list-style-type: none"> <li>素材別ボックスの設置</li> <li>リサイクル業者の開拓と利用</li> <li>作業ミスによる廃棄量の削減</li> <li>遊休資材の活用</li> </ul>
水道水の削減	水道水の削減 基準年から1%削減	水使用量 2,235 m <sup>3</sup>	水使用量 2,212 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道栓の開閉をこまめに実施</li> <li>蛇口はきちんと締めて漏水の防止</li> </ul>
コピー用紙の削減	コピー用紙の削減 基準年から1%削減	用紙使用量 4,012 kg	用紙使用量 3,971 kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み用紙の裏面再使用の徹底</li> <li>両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底</li> <li>文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止</li> </ul>
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>コスト面を考慮しながら、環境対応マークの付いた文房具の購入を推進する</li> </ul>

# 環境活動の紹介

## 農具川河川愛護活動及び道路美化活動

毎年、本社近くを流れる【農具川】に生息する特定外来生物《アレチウリ》の駆除及び河川内のゴミ拾い、周辺道路のゴミ拾いを行いました。



平成27年9月2日実施



平成28年5月17日実施

業界・地元新聞に取上げてもらいました。

農具川や県道を美化  
北陽ボランティアクラブ

北陽建設(大垣市)の社員有志で構成する北陽ボランティアクラブ(北陽ボランティア)は2日、本社近くの農具川でアレチウリの駆除やゴミ拾い、周辺道路の美化を、地元農具川河川愛護会と連携して実施した。約200kgのゴミを回収した。また、農具川河川愛護会との連携で実施した。約200kgのゴミを回収した。



新建新聞

平成27年9月2日  
実施 記事

大系タイムス

心一つに地域美化を  
大前北陽建設が環境活動

北陽建設(大垣市)の社員有志で構成する北陽ボランティアクラブ(北陽ボランティア)は17日、本社近くの農具川でアレチウリの駆除やゴミ拾い、周辺道路の美化を、地元農具川河川愛護会と連携して実施した。約200kgのゴミを回収した。

大系タイムス

平成28年5月17日  
実施 記事

長野建設新聞

大系タイムス 2015年9月5日(土)

農具川や県道を美化  
北陽ボランティアクラブ

大系タイムス  
Web版

県道や河川でゴミ200kg回収  
北陽ボランティアクラブ

北陽建設(大垣市)の社員有志で構成する北陽ボランティアクラブ(北陽ボランティア)は2日、本社近くの農具川でアレチウリの駆除やゴミ拾い、周辺道路の美化を、地元農具川河川愛護会と連携して実施した。約200kgのゴミを回収した。



長野建設新聞

北陽建設ボランティアが美化活動

北陽建設(大垣市)の社員有志で構成する北陽ボランティアクラブ(北陽ボランティア)は17日、本社近くの農具川でアレチウリの駆除やゴミ拾い、周辺道路の美化を、地元農具川河川愛護会と連携して実施した。約200kgのゴミを回収した。

新建新聞

## 植樹祭に参加

昨年参加した「苗木のホームステイ」で預った苗木を1年間に渡って育て、「大北地区植樹祭」で植えられました。

平成28年度大北地区植樹祭  
(全国植樹祭のイベント)

あづみ野池田  
クラフトパークにて



## 「エコキャップ運動」の継続取組

NPO法人 エコキャップ推進協会で行われている「エコキャップ運動」に継続して参加しています。



キャップ収集累計個数：14,330個  
CO<sub>2</sub>削減累計：66.15kg

## 古本でNPO・NGOを支援する「チャリボン」活動に参加

古本のリユースを活用して不要になった本を回収して現金化し、その資金を森づくりに充てていくBook for Forestに参加しています。



回収冊数：169冊  
寄付金額：¥6,325円  
寄付先団体：NPO法人 森のライフスタイル研究所

※Book for Forestとは  
不要になった「本」を「森づくり」に役立てる画期的な取り組みです。個人や会社で不要になった本やCD、DVDを提携会社のバリューボックスがお引き取りし、査定し、買い取ります。その買い取り額が森づくりのための資金としてNPO 森のライフスタイル研究所に寄付される仕組みです。

<http://www.charibon.jp/>

海外途上国にヘルメットを寄付

ヘルメット自体は「まだまだ使えるのにゴミとして処分するのはもったいないなあ」と思っていたところ、海外では必要としている国々があると知り支援物資として寄付しました。



不用になったヘルメット 150個

運営団体：国際社会支援推進会  
サービス名称：ワールドギフト (World Gift)

<http://world-gift.com/>

社会貢献活動の実施

寒波により、普段降雪量の少ない伊那市内でも積雪となりました。営業所近隣に高齢者の方が住んでおり、安心して歩行いただける様歩道の除雪を行いました。

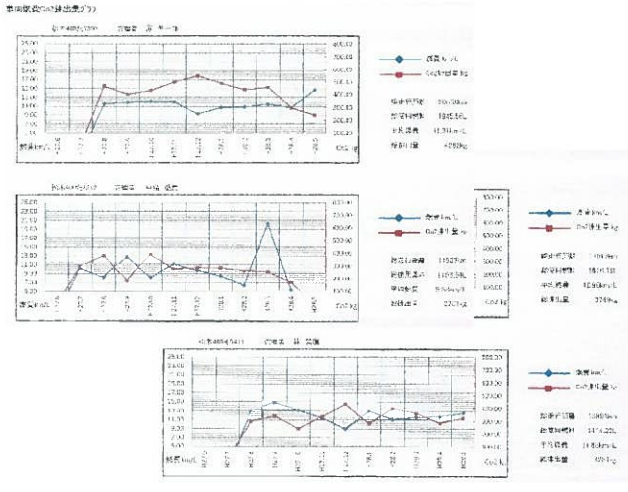


伊那営業所の皆様、お疲れ様でした。

燃料節約意識向上の活動

社有車の燃費及びCO2排出量の集計を実施、グラフ化し各車両管理者に燃料節約意識の向上を図るため、見える化を実施しています。

車種	車番	燃料消費量(L)	走行距離(km)	燃費(km/L)	CO2排出量(kg)
軽自動車	001	100	1000	10.0	1000
軽自動車	002	120	1200	10.0	1200
軽自動車	003	110	1100	10.0	1100
軽自動車	004	130	1300	10.0	1300
軽自動車	005	140	1400	10.0	1400
軽自動車	006	150	1500	10.0	1500
軽自動車	007	160	1600	10.0	1600
軽自動車	008	170	1700	10.0	1700
軽自動車	009	180	1800	10.0	1800
軽自動車	010	190	1900	10.0	1900



飯田営業所での取り組み状況

## 環境に配慮した施工の取組

### 補強土植生のり砕工による施工

従来の鉄筋やモルタル（コンクリート）を使用するのり砕工とは違い、のり砕面を含む全面緑化が可能となり、景観を損ねることがありません。



#### 補強土植生のり砕工

植物が生育可能な改良土を使用し、シート養生やリバウンドの処理が不要で余分なゴミが出ません。



#### 従来工法（乱れ吹付のり砕工）

吹付け材のモルタル殻、シート材が廃棄物となる。

### ワイヤーネット被覆工による施工

転石が多数点在する箇所においては、従来モルタル吹付工法が選択されていたが、新工法を導入することで景観をそのまま残すことが可能になりました。



木曾営業所

### 間伐材を利用した防草モルタル吹付工の施工

岐阜県内で発生した間伐材のチップを吹付け材料と練り混ぜ、のり面に吹付けた。のり面の侵食防止を図るとともに、周辺の森林風景に違和感のない景観をもたらした。



(1) 間伐材のチップ



(2) チップを練り混ぜた吹付け材をのり面に吹付け。



(3) 周辺環境に違和感のないのり面に。

岐阜営業所



## 施工検討による工法の選択、化石燃料削減の取組

環境に配慮する施工をテーマに施工検討会を行い、環境にやさしい工法の選択、化石燃料の削減目標を設定し取組み、施工完了後に評価を行う。

環境活動実施書

区分	工種	自然環境配慮	目標値	実績値	削減率
環境活動実施書	環境活動実施書	環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%
		環境活動実施書	100%	100%	100%

環境活動実施書

毎月の使用量を把握し、実行予算と対比する事で燃費意識の向上を図る。

表層崩壊が予想される法面の崩壊対策工法比較表

工法	コスト	環境
類似工法案	高	悪
決定した工法	低	良

表層崩壊が予想される法面の崩壊対策工法比較表  
類似工法案と比較検討し、コスト及び環境に優れた施工方法を決定する。

各現場毎、施工完了時に目標値と実績値を比較し評価を行う。

各現場毎、施工完了時に目標値と実績値を比較し評価を行う。

木曽営業所での取り組み状況

## サイフォンの原理を利用した取水

モルタル吹付工で使用する「練り混ぜ水（沢水）」を取水する際に初動の通水に電力を使用する以外は、『サイフォンの原理』で取水を行う事により使用電力の削減に努めた。



初動のみポンプを使用、取水箇所からプラントまでの300mの間は、サイフォンの原理で通水。

木曾営業所

## モルタル吹付機の洗浄水の処理

モルタル（コンクリート）吹付機の洗浄水は強アルカリ性のため、そのまま河川へ放流すると環境破壊につながります。中和剤等を使用し水質汚染の抑制を行います。



(1) 洗浄水を大型土のうに回収。



(3) 無機系凝集材「水澄まいる」を使用。



(5) 攪拌



(2) pHを測定。  
pHは11.5。強アルカリ性。



(4) 水澄まいる投入。



(6) pHを測定。  
pHは7.3の中性。

伊那営業所

## 騒音等の負担軽減措置

民家に近い場所での施工であるため、小石等の飛散防止・騒音対策を兼ねて防音シートを設置し、近隣住民への負担の軽減を図った。



伊那営業所

## 建設機械の油漏れ対策

大型の発電機・コンプレッサーについては長期間設置し、幾度となく燃料補給を行うので、給油時の油・オイル漏れを防止するため「油吸着材」を給油口に敷設する。また緊急用の油液処理キットを常設。



木曽営業所

## 環境に配慮した資材の利用

ワラ伏せ工に使用する止めピンを生分解性樹脂100%用いた環境資材を利用。



土中、水中の微生物により、最終的に水と炭酸ガスに分解される。

岐阜営業所

# 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

## 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

当社の企業活動に伴い、適用される環境関連法規等は下記の通りです。  
環境管理責任者と事務局が中心となり、法規制の遵守状況について調査を行い、環境管理責任者が遵守の評価を行います。

2016/05/31

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環境責任者	事務局
							評価	確認
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	(産業廃棄物の保管) ・掲示板設置(60cm×60cm以上で種類、管理者名、連絡先、積上げ高さを表示) ・保管施設の飛散、流出及び地下浸透しない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他害虫発生防止 ・他の廃棄物が混入しないような措置 ・種類別の措置	・基準に適合した措置	—	機材センター	日常点検	現物監視	適	適
	(産業廃棄物の委託) ・知事の許可を受けた収集運搬業者、処理業者と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業者又は処理業者の許可証の確認	・委託基準の遵守	—	排出部門	毎年5月	委託契約書 許可証写し	適	適
	(産業廃棄物管理票) ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付	・排出部門に記載	—	排出部門	毎年5月	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)	適	適
	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)B2票、D票、E票を5年保存	・A票と併せて7年間保管	—	排出部門	毎年5月		適	適
	・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付がない場合は、業者へ照会し、状況を30日以内に行政へ報告	・毎月1回チェック	知事	排出部門	1回/月	産業廃棄物管理票未回収報告書	適	適
	(産業廃棄物管理票交付等状況報告) ・前年度の交付状況を報告 ・中間処理業者の交付する2次マニフェストも報告 ・県内で排出したものに限り	毎年4月1日～6月30日の間に提出	知事	安全室	毎年7月	交付等状況報告書	適	適
	・一般廃棄物の分別収集と指定ゴミ袋で運搬	ゴミ出しルール遵守	—	管理本部	日常点検	現物監視	適	適
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法) (資源の有効な利用の促進に関する法律)	(建設工事の届出) ・体積が1000m <sup>3</sup> 以上である土砂 ・重量が500t以上である砕石 ・重量が200t以上である加熱アスファルト混合物	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	・再生資源利用計画/実施書 ・再生資源利用促進計画/実施書 ・CREDAS入力FD	適	適
建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	(建設工事の届出) ・解体工事：床面積の合計が80㎡以上 ・新築又は増築の工事：床面積の合計が500㎡以上 ・新築、増築、解体以外の工事：請負代金が1億円以上	対象工事受注時、竣工時に書面作成し、発注者に説明	発注者	工事部門	1回/年	説明書・告知書・再資源化報告書	適	適
騒音規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・びょう打機を使用する作業 ・削岩機を使用する作業 ・空気圧縮機(原動機の定格出力15kw以上)を使用する作業 ・コンクリートプラント(混練容量0.45m <sup>3</sup> 以上)、アールプラント(混練重量200kg以上)を設けて行う作業 ・バックホウ(原動機の定格出力80kw以上)を使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
振動規制法	(特定建設作業の届出) ・指定地域内で特定建設作業を行う場合は、7日前までに市町村長へ届出 ・くい打機、くい打くい抜機を使用する作業 ・鋼板を使用して建築物その土地の工作物を破壊する作業 ・舗装板破砕機を使用する作業 ・ブレーカーを使用する作業	規制遵守	市長村長	工事部門	1回/年	届出控	適	適
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	(対象事業が公共工事の場合) ・小型バックホウ、バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧パワーユニット、ロードローラー、タイヤローラー等	対策型ステッカー貼付の建設機械使用	発注者	工事部門	公共工事の都度	ステッカー確認	適	適

法律・規制等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応	届出先	担当部門	評価時期	証拠となる記録等	遵守状況	
							環境責任管理者	事務局
							評価	確認
水質汚濁防止法	(事故時の措置) ・特定事業場の設置者は、有害物質又は油を含む水が公共用水域に排出され、又は地下浸透し、人の健康又は生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに緊急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	機材センター	事故発生の都度	届出控	該当なし	該当なし
	・特定事業場以外で貯油施設等を設置するものは、事故が発生し、油を含む水が公共用水域に排出され、生活環境に被害が生じる恐れのあるときは、直ちに緊急措置を講じ、知事に届出	規制遵守	知事	工事部門	事故発生の都度	届出控	該当なし	該当なし
消防法	(第4類危険物の指定数量) 第二石油類(非水溶性)：1000ℓ—灯油、軽油等 (水溶性)：2000ℓ 第四石油類：6000ℓ—ギア油等	規制遵守	消防署	機材センター	1回/年	少量危険物の貯蔵取扱管理記録	適	適
河川法	一日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合	規制遵守	河川管理者	工事部門	対象の都度	届出控	該当なし	該当なし
道路法	公共道路を使用する場合	規制遵守	道路管理者	工事部門	道路使用(占有時)	届出控	適	適

## 環境関連訴訟等の有無

関係機関及び近隣住民からの環境関連訴訟等に関して現在及び過去3年間、1件も発生しておりません。

## 代表者による全体評価と見直しの結果

### 代表者による全体評価

エコアクション21認証・登録より5年目の事業活動が終了しました。社員の環境活動に対する意識も向上し、活動初期からの『紙、ごみ、電気』の削減取組はもとより、本業においても新工法の採用や創意工夫を凝らしCO<sub>2</sub>削減及びコスト削減に取り組んでおります。

本事業年度については、電力、灯油、コピー用紙の削減目標は達成できたものの、その他の化石燃料、資源、廃棄物の削減は未達成となったが、認証・登録時と比べても売上高100万円当たりの比率を指数として比較したところ、CO<sub>2</sub>排出量は年々減少傾向にあり、社員の努力の成果が表れている。

今後もさらに人と環境にやさしい工法技術の積極的採用、業務の効率化を図って環境負荷を低減できるよう努めます。

### 見直し

#### 『環境方針』

変更の必要性：無

引き続き、環境方針に定められた取組みを継続して取組む。

#### 『環境目標・活動計画』

変更の必要性：無

下記の項目について来期以降、積極的に取組む

- ・エコ運転、アイドリングストップの徹底
- ・現場への効率的な移動（相乗り、不用な荷物をおろす等）
- ・日常車両点検及び燃費管理の徹底（オイル交換、空気圧等）
- ・燃費の良い建設機械の選択、環境負荷のかからない効率的な運転
- ・現場廃棄物を削減できる工法、材料の選択

#### 『その他』

変更の必要性：有

当社に適用される環境関連法規に【フロン排出抑制法】を追加する。